

株式会社コンサドーレ様 有難うございました!

初めまして、私は JICA シニアボランティアとして 2019 年 4 月から南米アルゼンチンの首都ブエノスアイレスの近くの町、アエドに派遣されています、伊藤由香子と申します。

この度は、「世界の笑顔のためにプログラム」にサッカーユニフォームをご寄贈いただきまして、本当に有難うございました。私の配属先は教会が設立したラスパンティ特別支援学校で、10 歳から 25 歳の、障がいを持った児童生徒 50 名ほどが在籍しています。ほとんどの生徒がダウン症という知的障がいの子もたちで、年齢差はありますがみんなが 1 つの家族のように仲良く、明るい笑顔で学校生活を送っています。

私はここで、子供たちが楽しく自己表現できるような授業をしているのですが、ここには十分な教材がなく、「子供たちに使ってほしい!」と思って、寄贈をお願いした次第です。

この度寄贈いただきましたサッカーユニフォームに、校長をはじめ、学校の職員、生徒全員がみんなとても喜んでおります。



素敵な贈り物を、本当に有難うございました。

さて、みなさんはアルゼンチンのことをご存知でしょうか？
ここで少し紹介させていただきます。

銀の国、アルゼンチン。神秘と魅惑の響きに惹きつけられたヨーロッパの探検家や征服者たちは、その奥に眠ると言われた銀の財宝を求めて、ラ・プラタ川をさかのぼり、征服していきました。彼らによって持ち込まれた文化が先住民文化を覆い尽くし、アルゼンチンを第 2 のヨーロッパに塗り替えていき、他の南米諸国とは異なった独自の道を歩むことになったのです。

面積は日本の 7.5 倍の広さがあり、人口は 4,449 万人で、そのうちスペインやイタリアなどの欧州系が 97%、先住民系が 3%です。公用語はスペイン語で、宗教はカトリックやプロテスタントなどのキリスト教です。南米の中ではかなり発展しているほうですが、国民一人あたりの GDP は 11,652 ドル、経済成長率は -2.5% で決して豊かとは言えず、教育も十分とは言えません。日本だけでなく、ドイツ、フランスなどからの援助も受けています。



アルゼンチン国旗：空と海の色であると同時に、自由や正義を表す青と白のストライプ。中央の太陽は、スペインからの独立を表す自由のシンボルです。



日本

アルゼンチン

アルゼンチンは南米の最南端にあります。日本の真裏側ですね。周囲をウルグアイ・ブラジル・パラグアイ・ボリビア・チリと国境を接し、東は大西洋、西は太平洋に面しています。南部は南極へと続く南米パタゴニア地方と呼ばれる秘境です。

ボリビア国境にかけての北側は、灼熱の太陽がむき出しの山肌を照らす乾燥地帯。その中心サルタは、アルゼンチンfolkloreのメッカであり、タンゴの流れるブエノスアイレスとは全く違った雰囲気があります。



ブエノスアイレスからチリ国境にかけての西部は、ワインの里として知られるメンドーサや保養地のコルドバといった気候の良いエリアが広がっています。



ブラジル・パラグアイとの国境には、世界一のイグアスの滝があります。



南緯40度以南を指すパタゴニア地方は、人よりもペンギンなど動物の多いエリア。大自然を実感できるところです。



首都ブエノスアイレスは、ラ・プラタ川沿いに位置する大都市です。



音楽では、アルゼンチンタンゴが情熱的な踊りで有名ですが、そのほかにもアンデスの楽器を使ったいわゆるラテン音楽も聞かれており、フォルクローレの音楽に合わせた民族舞踊はとても美しく優雅なダンスです。



アルゼンチンの食事ってどんな味でしょう？
アルゼンチンの特産品は、牛肉・ワインです。牛肉の消費量は世界一と言われるように、スーパーの肉売りの半分以上が牛肉売り場で、みんな数kg単位で買って行きます。週末に家族や友達とバーベキューをする家庭が多いようです。



スペイン人やイタリア人が持ち込んだ文化により、今では、いわゆる普通の洋食がどこでも食べられます。学校給食も、下の写真のようなメニューです。パスタにピザ、ステーキに牛カツ、どれもとても美味しいです。給食調理員さんお二人でアツアツ料理を提供してくださいませ。



南米らしい料理もあります。
トウモロコシの粉を使ったトルティーヤや、エンパナーダ。エンパナーダは肉や野菜、ツナを味付けて包んだパイのような物で、とても美味しいです。小腹がすいた時にちょうどいいおやつです。



町にはマクドナルドやピザハウス、韓国料理や日本料理店もあります。日本の醤油などの調味料や食材を売っているお店も少しありますので、思ったよりも生活しやすく感じています。



最後に子供たちの暮らしについて、お話しします。



アルゼンチンの学校は午前8時半頃から始まります。本校は市内全域から生徒をスクールバスで集める為、1番早い子は午前7時にはバスに乗ります。学校に着いたら、まずスナック（ビスケットと紅茶やジュース）をもらって皆で食べます。その後授業を受け、12時に給食がもらえます。午後は生徒の半分は市バスに乗って職業訓練所へ行きます。木工やパン作り、手工芸の技術を身に着けるのです。学校に残った生徒は、体育・音楽や手芸、美術の授業を受けます。私は絵画と工作や手芸を教えています。3時からティータイムです。生徒は自分が持ってきたおやつを食べます。4時まで授業を続け、その後、またビスケットなどの軽食を食べて、4時半にスクールバスに乗り込みます。子供たちは1つの家族のように楽しく過ごしていますが、教材や道具が十分ではないため、残念だなあと感じていました。今回貴社から頂戴しましたユニフォームで、子供たちは笑顔で練習できるでしょう。

アルゼンチンの習慣として、挨拶の時にはハグ（抱き合う）してほっぺを合わせてチュッとします。また、1つのコップにお茶(マテ茶)を入れて、ストローのような器具を使って、みんなで回し飲みをするという習慣があります。でも、今のコロナ感染の拡大を受け、テレビでは「密接してあいさつしないように、マテ茶の回し飲みはしないように」という政府からの注意が流されています。



最後になりましたが、アルゼンチンでも全域外出禁止状態、休校が続いているという事情で、ユニフォームの贈呈式ができませんでしたこと、心からお詫び申し上げます。

厳しい現状ですが、自分で自分の身を守って、コロナに負けず、一日も早くみんなでコロナウィルスを撃退しましょう。

皆様のご健康とご活躍をお祈りしております。

i Muchas Gracias ! 有難うございました !

JICA シニア海外協力隊員

伊藤 由香子